

全木連時報



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

6月25日(水曜日)
(第603号)(毎月25日発行)
平成20年(2008年)

発行所
社団法人 全国木材組合連合会
編集兼 後藤 隆一
発行人
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

全木協連の20年度新規事業がスタート

木質資源利用ニュービジネス創出モデル実証事業

がんばれ！地域林業サポート事業

全木協連が行う今年度の補助事業のうち新規事業となる「木質資源利用ニュービジネス創出モデル実証事業」と「がんばれ！地域林業サポート事業」がそれぞれ事業を開始した。なお、木質資源利用ニュービジネス創出モデル実証事業の募集は六月末までであり、まもなく終了する。

木質資源利用

ニュービジネス

創出モデル実証

事業の募集

1、事業の目的

木質バイオマスの利活用は、持続可能な社会の実現、地球温暖化の防止に資する重要な課題。そのためには、健全な森林の保全とそとの森林から生産される木質資源の活用が長期に亘って維持されていく必要があり、何よりも経済的に成り立つことが重要。この事業は間伐の実施と、間伐により発生す

る木質バイオマス資源の利用を一体的に進める方法をモデル事業によって実証し、木質資源を利用した新たなビジネスの創出と森林・林業の活性化を図るシステムを全国に普及することが目的。

2、事業の概要

本事業は公募により選定された団体が行う、間伐の実施と木質資源の総合利用モデルを構築する取組（既の実稼働している施設を活用した間伐材等の利用促進のための実証等）を支援し、木質バイオマス資源を総合利用する新たなビジネスモデルの創出を図るもの。

このため、木質資源利用事業者と森林組合等の林業事業者が共同で、または原料（チップ用材）の安定供給と利用に係る協定を締結することによって、当該チップ用材を確保するための間伐と間伐により発生する木質資源の効率的な活用した新木質材料の製造、熱エネルギー利用、バイオマス発電等に総合的に取り組む事業を支援する。

3、応募要件

(1) 応募対象となる事業等の要件

① 自力の予算による間伐（注1）の実施と、間伐により発生する木質資源の収集、燃料用等への利用を一体的に進める新たなビジネスを創出するための、モデル実証事業を対象とする。なお、自力間伐以外の方法で間伐材等の未利用木質資源を収集・利用する取組を含めて実証事業を行うことも可能だが、その資源に対しては、間伐実施による資材調達費は助成されない。

② 応募事業者（共同実施者、協定締結先を含む）が自己資金で実施する間伐のこと（以下、自力間伐という）

③ 他国庫補助金を使わずに、自己資金で実施すること

④ 自力間伐を実施する森林の所在地、予定間伐面積、木質バイオマスの予定利用数量等の計画が明瞭で、モデル事業としての実施可能性が十分であること。

⑤ 助成対象経費の範囲

事業の実施に直接必要な経費のうち、技術者給、賃金、謝金、器具機材等の使用料及び賃借料、原材料費、役務費、消耗品費、旅費、資材調達費等（原材料や消耗品以外の物品・備品に係る経費は対象外）

⑥ 助成金の額、助成率

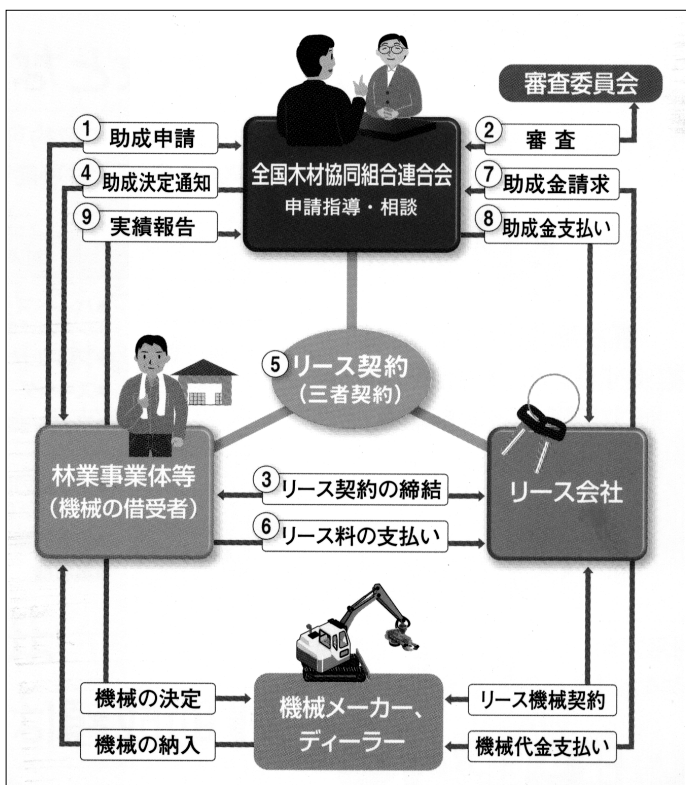
助成金の額は、原則として事業一件当たり五千万円以内。この範

围内

目次

- 一面 全木協連の二十年度新規事業が開始
- 二面 平成十九年の製材工場数は七千九百五工場
- 三面 JAS展示会日程決まる
GHO-WOOD円卓会議のおしらせ
- 四面 景況調査 おしらせ

がんばれ！地域林業サポート事業手続きの流れ



囲内で事業の実施に必要な経費(自力間伐の実施による資材調達費を除く)の二分の一以内を助成することとし、自力間伐と一体的に行う原料確保に係る資材調達費については、一㎡(原木換算)あたり六千五百円以内を定額で助成する。

6、事業実施期間
単年度事業を原則とするが、年度末の事業評価により複数年度(三年以内)実施することもある。希望する場合は、応募時に全期間にわたる事業計画を提示する。

がんばれ！地域林業サポート事業の申請受付開始

この事業は、林業事業者等が高性能林業機械を導入する場合には、リースに必要な経費を助成するもの。助成を受けられるのは、①林業事業者②林業経営体③上記の者が組織する団体④森林組合・県森連・生産森林組合⑤地方公共団体が出資する法人等。

対象となる林業機械は、ハーベスタ、プロセッサ、フォワーダ、タワーヤーダ、スイングヤーダ、

フェラーバンチャ、グラップル、自走式搬器、グラップル付きトラック、グラップルソー、集材器等。申請手続きの概要は次のとおり。

①機械の借受者は、機械メーカー、リース会社と物件の決定、リース契約の内容を調整して、全木協連に助成の申請をする。

②全木協連は、学識経験者等からなる審査会を開催して申請内容を審査し、助成の可否を決定する。

③機械の借受者は、リース会社とリース契約を締結する。

④機械の借受者は、全木協連、リース会社とリース料の助成に関する契約を締結する。

⑤機械の借受者はリース料をリース会社に支払う。

⑥リース会社は、機械の借受者から支払いを受けた後、一定期間分をまとめて全木協連に助成金を請求する。

⑦全木協連は、請求内容を確認し、リース会社に助成金を支払う。

⑧機械の借受者は、毎年度、全木協連に実施報告をする。

製材工場数は七千九百五工場 300kw以上の工場数は微増

平成十九年木材統計

農林水産省が四月に公表した「平成十九年木材統計」によると、我が国の平成十九年末時点の製材工場数は、七千九百五工場となり、前年より五百七十七工場減少した。

これを製材工場の出力別に見ると、三百kw以上の階層を除く、全ての出力階層において工場数が減少している。このため、総出力数は七十九万二千九百五十九kwで、前年に比べ二万六千九百八十八kw減少したが、一工場あたりの出力数は一〇〇・三kwとなり前年に比べ三・六kw増加した。

従業者数は四万二千二百二十七人で、前年より三千二百六十二人減少している。

平成十九年の製材用素材消費量は、前年より百九十二万一千一十m³で、前年に比べ百九万四千m³減少した。これも出力階層別に見ると、全ての階層で減少している。

なお、一工場あたりの素材消費量は二百四十三万m³で、前年に比べ三万六千m³増加した。

製材品の出荷量については、一千六百三十三万二千m³で、前年より九十二万二千m³減少した。用途別では建築用材、土木建設用材、木箱仕組板・梱包用材、家具建具用材、その他用材のそれぞれで前年より減少している。人工乾燥材の出荷量は二百二十九万三千m³であり、前年より減少したが、全出荷量に占める割合は一九・七%となり、前年を上回った。

製材工場数 出力階層 従業者数 素材消費量

工場数	出力階層	製材工場数 出力階層 従業者数 素材消費量			
		全国	対前年比	素材消費量(千m ³)	対前年比
工場数	総数	7,905	93.2	19,211	94.6
	7.5~22.5kw	823	95.5	165	92.2
	22.5~37.5	1,660	91.5	615	91.7
	37.5~75.0	2,861	92.0	2,004	88.5
	75.0~150.0	1,372	93.9	2,613	89.8
	150.0~300.0	706	93.6	3,122	89.0
	300.0kw以上	483	100.6	10,692	99.2
総出力数 kw		792,959	96.7	-	-
1工場あたり出力数 kw		100	103.7	-	-
従業者数		42,127	92.8	-	-
1工場あたり消費量		-	-	2,430	101.5

製材品出荷量

区分	製材品出荷量		
	出荷量(千m ³)	対前年比	
総数	11,632	92.7	
うち人工乾燥材	2,293	98.9	
建築用材	小計	9,455	92.6
	板類	1,835	89.5
	ひき割類	3,671	93.1
	ひき角類	3,949	93.7
土木建設用材	468	90.9	
木箱仕組板・梱包用材	1,321	95.0	
家具・建具用材	94	80.3	
その他用材	294	90.7	

JAS展示会開催日程など決まる

平成二十年年度のJAS製材品普及推進展示会(農林水産祭参加行事)は、以下の要領で開催することとなった。

一、開催目的

JAS製材品は、品質・性能が保証されたものであり、建築・設計等の需要者ニーズに対応した信頼される製材品である。

このようなJAS製材品の普及を図るためJAS製材品普及推進展示会を開催し、JAS製材品の流通の拡大と普及を図り、もって製品品質の改善、生産技術の向上・合理化、取引の単純公正化及び消費の合理化を進めることとする。

二、主催者

全国木材組合連合会 全日本木材市場連盟 全国木材市売買方組合連盟の共催とする。

三、後援

農林水産省消費・安全局、林野庁、開催地の都道府県の予定、四、協賛

五、実施事項

①三大都市圏及び主たる地方都市における市場で、JAS製材品普及推進展示会を開催し、当該製品の展示を行う。

②開催の各木材市場は、特定日を定めてJAS製材品の展示・即売会を行う。

③主催者は、農林水産祭参加の趣旨の理解を深めること及び積極的に出品するよう各団体傘下の事業所に対して十分周知徹底する。

④開催の各木材市場は、関係都道府県木連と協調し、JAS製材品の集荷及び展示に努める。

六、実行委員会等の設置等
展示会を円滑、かつ、効果のあるように推進するため、関係行政機関、関係業界団体及び関係木材市場

第36回JAS製材品普及推進展示会 審査・展示日程

審査月日	展示月日	予定会場	
9月 3日	9月 4日	中国・四国	(株)津山総合木材市場
9月 9日	9月10日	関東	丸宇木材市売(株)大栄浜市場
10月 8日	10月 9日	関東	丸宇木材市売(株)北浜市場
10月20日	10月21日	東海・北陸	(株)東海木材相互市場西部市場
10月 日	10月 日	東海・近畿	ウッドピア市売協同組合
11月11日	11月12日	関東	東京中央木材市場(株)
11月27日	11月28日	九州	(株)伊万里木材市場

ウッドピア市売協同組合での開催日は現在未定。

の担当者をもって委員会を設置する。

産省消費・安全局長賞、林野庁長官賞、全国木材組合連合会会長賞、全日本木材市場連盟会長賞、全国木材市売買方組合連盟会長賞を授与する。

七、審査結果の公表等
別に定める審査要領に基づき、審査した結果により入賞者の公表を行う。

八、賞状の授与
賞は、農林水産大臣賞、農林水産省消費・安全局長賞、林野庁長官賞、全国木材市場連盟会長賞、全国木材市売買方組合連盟会長賞を授与する。

おしらせ

GOHO-WOODF卓会議

G8サミットに向け地球環境議員連盟と語る

全木連は違法伐採総合対策推進事業の一環として、我が国が取組んできた「合法性・持続可能性を証明した木材・木材製品(GOHO-WOOD)」を供給し普及する取組」をG8サミットはじめ国際的な場に発信するため、地球環境議員連盟(グローブインターナショナル)の主要メンバーを招待し、公開の意見交換会を開催する。概要は次のとおり。

▼趣旨
G8北海道洞爺湖サミットに向けて地球環境議員連盟(グローブインターナショナル)が違法伐採問題についての提言を行うべく六月下旬、東京議員会合を実施するなど準備を進めており、その中の日本の違法伐採総合対策の成果(GOHO-WOODの取組)を反映させることが重要である。このため、国際セミナー2007 in 横浜サミリストートメントの内容を基に、地球環境議員連盟の関係者と連携を図り、日本のGOHO-WOODの取組をG8サミットはじめ国際的な場に発信するため、主要メンバーを招待し、公開の意見交換会(G8サミットにむけたGOHO-WOOD卓会議)を開催する。

▼日時
六月二十七日十四時から十七時

▼場所
東京プリンスホテル(鳳凰の間)

▼主催
社団法人全国木材組合連合会(違法伐採総合対策推進協議会)

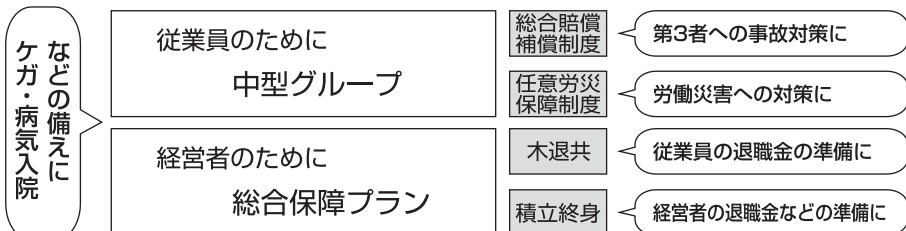
▼プログラム
① 来賓挨拶
農林水産大臣、グローブインターナショナル会長、同ジャパン会長

② 冒頭演説
グローブインターナショナル森林対話共同議長(英国担当大臣、カメルーン林業大臣)

③ DVD等上映
"goho-wood" japan's Action Against Illegal Logging 他(日本の違法伐採木材対策と合法木材供給の取組の紹介、日本市場における需要者側の動きを紹介など)

企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで30年
中型グループ



全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

景況調査＝全木協

20年5月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数150 回答数112 回収率75%

当月の状況

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Price, etc.

来月の見通し

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Price, etc.

Table with 4 columns: Item, Strong, Stable, Weak. Rows include Rice, South Sea, North Sea, Domestic, Building materials.

Table with 4 columns: Category, Increase, No Change, Decrease. Row: Drying material extraction frequency.

〔製造部門〕

モニター数151 回答数122 回収率81%

当月の状況

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Price, etc.

来月の見通し

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Price, etc.

Table with 4 columns: Item, Strong, Stable, Weak. Rows include Rice, South Sea, North Sea, Domestic.

プレカットの動向

Table with 4 columns: Category, 1 month or less, 1 month, 1 month or more.

④ 基調報告
吉野正芳衆議院議員・グローバルインターナショナル森林対話共同議長
日本のGOHOOWOODの今後の展望と国際連携(仮)
⑤ 円卓会議
参加者
① 円卓会議メンバー
日本側(関係国会議員、行政、学識経験者、業界関係者十五名程度)、地球環境議員連盟側(十五名程度)
② オブザーバー
違法伐採総合対策推進協議会関係者、関係国会議員、在京大使館関係者、マスコミ関係者、関係行政関係者、一般公募(二十〜三十人)

おしらせ

各県木連・木協連役員異動

各都道府県木連では、五月の後半をピークに総会が開催され、これから本格的に今年度の活動が始まることとなる。団体としては運営が難しい時代であるが、業界発展に向けての努力が期待される。
とこで、各県木連(協連)の今期総会では、役員の改選期であったところもあり、代表者等が交代した団体があるので紹介する(敬称略、カッコ内は前任者、全木連が役員の異動を各団体に照会し、回答のあったものを掲載)。
▼専務理事交代
徳島 綿谷忠雄(川下昌員)
▼会長・理事長交代
北海道 松原正和(小笠原弘)
青森 齋藤 渉(清水信造)
福島 朝田宗弘(小松吉昭)
山梨 戸栗 敏(小田切常雄)
富山 山田幸志(小池善英)
石川 角永善一(向河原辰郎)
長野 野川忠國(齋藤敏)
三重 重 重(辻本林義)
山根 根 三吉庸善(安来賢吉)
山口 口 吉野 一(酒田三男)
島根 縄 久高 晃(高良光秀)
徳島 綿谷忠雄(川下昌員)

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

お役に立ちます
林業・木材産業信用保証

私どもは昭和38年創立以来、林業・木材産業を専門に信用保証を行う公的機関です

- (対象業種)
造林・育林
素材生産
木材・木製品製造
薪炭生産
林業種苗生産
きのこ生産
木材卸売



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コービル11階)
TEL 03(3294)5581 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com